（1）　第27307号　（明治25年3月28日第3種郵便物認可・昭和24年2月17日運輸省特別検査認可号）　上毛新聞　（日刊）

声の図書館を設置

県、身障者対策の一環

盲人に一筋の光明

テープレコーダー購入の半額補助も

郵送でテープ貸し出す

県は盲学校や点訳奉仕員などと力を合わせ、あの二冊事業として、盲人たちのために「声の図書館」を開設する。県内に点訳奉仕員養成のための講習会を開いて、点訳奉仕員を養成するとともに、点字図書を購入、郵送による貸し出しを行なう。また、盲人がより多くのテープレコーダーを購入する場合には、七十円を限度に購入費の半額を補助しようと考えている。

県内には盲学校、盲人会にわかるだけでも八百人ほどの盲人がいるが、点字図書は、盲人にとって、目の代わりとなるもの。しかし、点字図書の数は、ごく少ない。

このため、県は、盲人用テープの郵送料無料という利用者に対して、点字の読めない盲人にも、点字図書を提供するなどの方法で、盲人の福祉センターにおいてテープレコーダーを購入する場合には、七十円を限度に購入費の半額を補助しようと考えている。

県は、盲人用テープの郵送料無料という利用者に対して、点字の読めない盲人にも、点字図書を提供するなどの方法で、盲人の福祉センターにおいてテープレコーダーを購入する場合には、七十円を限度に購入費の半額を補助しようと考えている。

八月ごろから、県内の盲人の中から、点字図書の郵送料無料という利用者に対して、点字の読めない盲人にも、点字図書を提供するなどの方法で、盲人の福祉センターにおいてテープレコーダーを購入する場合には、七十円を限度に購入費の半額を補助しようと考えている。

八月ごろから、県内の盲人の中から、点字図書の郵送料無料という利用者に対して、点字の読めない盲人にも、点字図書を提供するなどの方法で、盲人の福祉センターにおいてテープレコーダーを購入する場合には、七十円を限度に購入費の半額を補助しようと考えている。

県は、盲人用テープの